

# 伝説

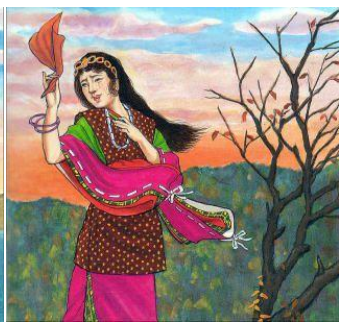
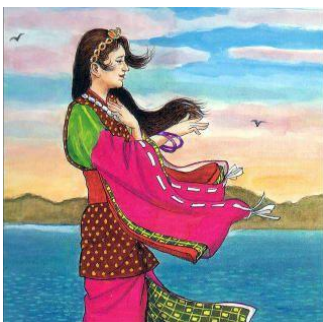
このページは、伊万里市歴史民俗資料館副館長の荒谷義樹先生のご協力で作成しました。



伊万里松浦病院（旧社会保険浦之崎病院）の中庭に鳥居があります。鳥居の先には「佐代塚」と呼ばれる石があって松浦佐代姫のお墓と伝えられています。松浦佐代姫と大伴狭手彦との悲恋の物語は万葉集にもよまれています。山代西地区には佐代姫塚の他にも、浦之崎に「佐代姫神社」があります。



写真は、伊万里松浦病院(上段左)、中庭の鳥居(上段右)、佐代姫塚(二段目左)、浦之崎の佐代姫神社(二段目右)です。



佐代姫伝説にはいくつかのパターンがあります。山代西地区に伝わっている伝説は次のような話です。



佐代姫伝説の舞台になった伊万里湾口の景色

昔、松浦地方の豪族の娘・佐代姫は、都から来た大伴狭手彦と恋に落ちました。やがて大伴狭手彦は、天皇の命によって朝鮮半島へ渡ることになりました。佐代姫は嘆き悲しみ、大伴狭手彦の後を追って小舟で海へ出ましたが、嵐に遭ってしまいました。

やがて、嵐が静まり、佐代姫の乗った小舟は伊万里湾口近く佐代川の河口へたどり着きました。佐代姫はすでに死んでいました。高貴な服を身に着けた佐代姫を見た土地の人は、丁寧に葬りました。以来、この地では豊漁が続き、土地の人々は佐代姫神社をたて佐代姫を祀りました。後日、佐代姫の行方を捜していた豪族は、この地で佐代姫の着物を見て、やっと行方が分かったということです。

佐代姫神社は、今でも土地の人々の信仰を集めています。